

令和元年度上半期指定管理者管理運営状況シート

●施設の概要

施設名	ドリームシアター岐阜	所管課	子ども未来部子ども支援課
所在地	岐阜市明德町6番地		
指定管理者名	公益財団法人 岐阜市教育文化振興事業団		
指定期間	平成29年4月1日～令和4年3月31日まで		
選定方法	<input type="checkbox"/> 公募 <input checked="" type="checkbox"/> 非公募		
料金制	<input checked="" type="checkbox"/> 使用料 <input type="checkbox"/> 利用料金 <input type="checkbox"/> 料金徴収なし		
指定管理委託料(年額)	96,779,888円		
施設の設置目的	青少年の日常的な文化活動を進めるとともに、市民の教養の向上を図る。		
施設概要	「子どものフロア」(4・5階)、研修室3、会議室、和室2、クッキングルーム、プレイルーム、音楽スタジオ、リハーサル室、メインホール、パソコンルーム、クラフトルーム		

●利用状況

		R1上半期	H30下半期	H30上半期	H29下半期	H29上半期
利用者数(単位:人)		39,198	33,495	34,863	36,850	31,933
各室稼働状況(%)	施設各室の平均稼働率(日)	62.6%	63.1%	60.3%	65.2%	62.3%
	施設(子どものフロア)の稼働率(日)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

●業務の履行確認

区分	確認事項	履行状況
利用者サービス	①利用日・利用時間の厳守 ②適切な人員配置 ③広報の方策 ④苦情への対応	①利用日・利用時間は厳守。 ②職員14人。利用者サービスが低下しないよう、適切に人員を配置。 ③市内全小中学校、保育所(園)にイベント・セミナー等のチラシを毎月配布。ホームページによる最新情報の提供。各種情報サイト、広報ぎふ、地域情報誌、新聞、テレビ等、様々なメディアを活用した情報提供。教育諸団体の関係会議を通じた広報。 ④自由に記入できるよう、ご意見箱の設置。窓口や電話での聞き取り。施設利用者、セミナー受講者、イベント参加者等に対するアンケートの実施。把握した内容は、マニュアルに基づき早急に対応。改善策、取り組み状況をホームページ及び館内掲示にて公表。
提案事業 指定事業	下記主催事業を実施すること ①子ども対象事業 ②親子対象事業 ③一般対象事業 ④特別企画事業	主催事業の実施 ①子ども対象事業 46種類 97回 参加者 1,434人 ②親子対象事業 43種類 59回 参加者 1,455人 ③一般対象事業 11種類 38回 参加者 523人 ④特別企画事業 9種類 9回 参加者 2,515人
施設管理	①日常・定期清掃業務 ②タワーパーキング管理・保守点検 ③警備業務	①清掃業務 ・日常清掃 毎日実施(開館日) ・定期清掃 床面:6・9月実施 グリストラップ:6月実施 窓ガラス:9月実施 ②タワーパーキング保守点検:毎月実施 ③警備業務 ・日常警備 毎日(開館日) ・機械警備 毎夜(午後9時～午前9時) 休館日(午前9時～翌日の午前9時)

<p>施設管理</p>	<p>④ 自家用電気工作物保安管理業務</p> <p>⑤ 舞台照明装置及び音響機器保守点検</p> <p>⑥ 展示備品保守点検</p> <p>⑦ 自動火災報知設備保守点検</p> <p>⑧ 空調設備保守点検</p> <p>⑨ 自動ドア保守点検</p> <p>⑩ エレベーター保守点検</p> <p>⑪ パソコンサーバー保守点検</p> <p>⑫ カラー複合機保守点検</p> <p>⑬ 空気環境測定</p> <p>⑭ 飲料用貯水槽清掃</p> <p>⑮ 水質検査</p> <p>⑯ ねずみ等の生息調査及び駆除</p>	<p>④ 自家用電気工作物保守管理:5・7・9月実施</p> <p>⑤ 舞台照明装置及び音響機器保守点検 ・舞台照明装置 2月実施予定 ・音響機器 2月実施予定</p> <p>⑥ 展示備品保守点検:2月実施予定</p> <p>⑦ 自動火災報知設備保守点検:7月実施</p> <p>⑧ 空調設備保守点検:毎月実施</p> <p>⑨ 自動ドア保守点検:9月実施</p> <p>⑩ エレベーター保守点検:毎月実施</p> <p>⑪ パソコンサーバー保守点検:7月実施</p> <p>⑫ カラー複合機保守点検:毎月実施</p> <p>⑬ 空気環境測定:5・7・9月実施</p> <p>⑭ 飲料用貯水槽清掃:9月実施</p> <p>⑮ 水質検査:9月実施</p> <p>⑯ ねずみ等の生息調査:6・9月実施</p> <p>※職員による施設点検:毎日実施(開館日) ※遊具・玩具等は定期的に消毒(週2回)</p>
<p>施設修繕</p>	<p>下記の観点からの修繕実施状況</p> <p>① 迅速・適切な修繕の実施</p> <p>② 指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備</p>	<p>① 日常点検による、迅速・適切な修繕の実施例 ・空調設備の修繕(室温を確認し、即日対応) ・自動水洗の修繕(不具合を確認し、即日対応) ・展示用自動人形の修繕(不具合を確認し、即日対応)</p> <p>② 職員による修繕・整備の実施例 ・「子どものフロア」(4・5階)の遊具・玩具の修理 ・トイレの水漏れの修理 ・ドア・壁・机・イスの補修 ・床タイルの補修 ・クラフト工具の整備</p>
<p>危機管理・法令遵守</p>	<p>① 個人情報の保護</p> <p>② 非常時の対応策</p> <p>③ 関係法令の遵守</p>	<p>① 当事業団の個人情報保護方針に則り、適正に管理運用。 ・講座申込みなどの際に入手する個人情報は、外付けのHDDに保存し、閉館時には金庫に保管。 ・個人情報保護研修、情報セキュリティー研修の実施。</p> <p>② 職員に対する「非常時対応マニュアル」の周知徹底及び実践的な研修(訓練)の実施。館内掲示や直接的な呼びかけなどによる来館者に対する注意喚起。 ・消防訓練の実施 ・救命講習、防火管理者講習等に参加 ・「避難所運営マニュアル」「岐阜市総合防災安心読本」に基づく対応の確認</p> <p>③ 地方自治法、岐阜市ドリームシアター岐阜条例・同施行規則等、関係法令に基づき適切に運営。</p>

●利用者評価

<p>利用者アンケートの実施状況</p>	<p>○施設利用者アンケート ・すべての利用団体にアンケートを実施 アンケートの質問項目は、「利用全般」「施設設備」「接客マナー」「意見・要望」 ○団体利用者アンケート ・すべての団体利用者にアンケートを実施 アンケートの質問項目は、「施設設備」「職員の対応」「意見・要望」 ○主催事業参加者アンケート ・親子セミナーとフェスタ、人形劇鑑賞会の参加者にアンケートを実施 アンケートの質問項目は、「事業満足度」「事業を知った広報媒体」「感想」等</p>
<p>利用者アンケートの実施結果</p>	<p>○施設利用者アンケート 【項目】「利用全般」「施設設備」「接客マナー」「意見・要望」 ・回収枚数 397枚(初回利用31枚 複数回利用366枚)</p> <p>①「利用全般」(満足度91.4%) ←「大変満足」「満足」の合計が全体に占める割合(以下同じ) 初回利用 大変満足 67.7% 満足 25.8% ふつう 6.5% 不満足 0.0% 大変不満足 0.0% 複数回利用 大変満足 54.1% 満足 37.2% ふつう 8.7% 不満足 0.0% 大変不満足 0.0%</p> <p>②「施設設備」(満足度90.7%) 初回利用 大変満足 67.7% 満足 22.6% ふつう 9.7% 不満足 0.0% 大変不満足 0.0% 複数回利用 大変満足 54.4% 満足 36.3% ふつう 9.3% 不満足 0.0% 大変不満足 0.0%</p> <p>③「接客マナー」(満足度91.4%) 初回利用 大変満足 77.4% 満足 19.4% ふつう 3.2% 不満足 0.0% 大変不満足 0.0% 複数回利用 大変満足 55.2% 満足 35.8% ふつう 9.0% 不満足 0.0% 大変不満足 0.0%</p> <p><主な意見> ・セッティングを細かな部分まで親切・丁寧に手伝っていただき、感謝しております。 ・スリッパが新調され、軽くなってよかったです。 ・当日、急に予約をしたにも関わらず、丁寧に対応していただきました。</p> <p>○団体利用者アンケート 【項目】「施設設備」「職員の対応」「意見・要望」 ・回収枚数 38枚</p> <p>①「施設設備」(満足度100.0%) 大変満足 75.7% 満足 24.3% ふつう 0.0% 不満足 0.0% 大変不満足 0.0%</p> <p>②「職員の対応」(満足度100.0%) 大変満足 86.8% 満足 13.2% ふつう 0.0% 不満足 0.0% 大変不満足 0.0%</p> <p><主な意見> ・スタッフの方にやさしく丁寧に声掛けをしていただき、安全に楽しく過ごすことができました。 ・普段できない遊びをいろいろと教えてもらい、クラフトも“作って遊べる”ところがとてもよかったです。 ・のびのびと好きな遊びを見つけ、夢中になって遊べたのでよかったです。一人でも遊べるよう、工夫してある点がすごいと思いました。</p>

	<p>○主催事業参加者アンケート 【親子セミナー・フェスタ】 ・回収枚数 310枚(初回利用89枚 複数回利用221枚)</p> <p>①「事業満足度」(満足度95.5%) 初回利用 大変満足 69.7% 満足 25.8% ふつう 4.5% 不満足 0.0% 大変不満足 0.0% 複数回利用 大変満足 67.4% 満足 28.1% ふつう 4.5% 不満足 0.0% 大変不満足 0.0%</p> <p>②「事業を知った広報媒体」(複数回答可) 初回利用 チラシ 59.6% 広報ぎふ 22.5% 情報誌 2.2% インターネット 2.2% その他 13.5% 複数回利用 チラシ 63.1% 広報ぎふ 19.4% 情報誌 1.5% インターネット 5.3% その他 10.7%</p> <p><主な意見> ・プログラミングを知るよききっかけになりました。子どもも興味をもったようで、とてもよかったです。 ・DNAについて、分かりやすい言葉で説明していただき、興味深く聞くことができました。家でも実験したいと思います。 ・ボランティアのお兄さん、お姉さんが親切に教えてくれたので、楽しく活動できました。</p>
利用者アンケートの実施結果	<p>【人形劇鑑賞会】 ・回収枚数 88枚(初回利用61枚 複数回利用27枚)</p> <p>①「事業満足度」(満足度97.7%) 初回利用 大変満足 65.6% 満足 32.8% ふつう 1.6% 不満足 0.0% 大変不満足 0.0% 複数回利用 大変満足 77.8% 満足 18.5% ふつう 3.7% 不満足 0.0% 大変不満足 0.0%</p> <p>②「事業を知った広報媒体」(複数回答可) 初回利用 チラシ 52.3% 広報ぎふ 6.2% 情報誌 4.6% インターネット 16.9% その他 20.0% 複数回利用 チラシ 79.3% 広報ぎふ 3.5% 情報誌 3.5% インターネット 6.9% その他 6.8%</p> <p><主な意見> ・いろいろな役に合わせて声色を変えるところがすごいと思いました。歌もステキでした。 ・とても面白く、爆笑してしまいました。子どもも「また来たい。」と言っていました。 ・今日は娘と一緒に楽しんで見させていただきました。仕事でお話するときの勉強にもなりました。</p>
利用者からの要望・苦情と対処・改善	<p>利用者の要望・苦情に対しては、下記のとおり適切に対応。</p> <p><主な意見> ・研修を行うには部屋が少し暗く感じる。(研修室2・3) ⇒即日、照明器具の清掃を実施。</p> <p>・使用したいソフトに不具合がある。(パソコンルーム) ⇒原因を調査し、設定変更により、不具合を解消。</p> <p>・参加者が多すぎて、待ち時間が長く、活動スペースも狭い。(共催イベント) ⇒主催者と話し合い、別会場も設けて、以後のイベントを実施。</p> <p>・ボードゲームは難しいので、幼児でもできるゲームが増えるとよい。(団体利用) ⇒幼児も楽しめる「手づくり遊びコーナー」のゲームを充実。</p>

●指定管理者の選定基準に基づく評価

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
公平性 透明性	住民の平等利用が確保されること	①平等利用を確保するための体制、モニタリングなど	・利用者要望・意見を把握し、それを基に公正な施設運営に努めているか。 ・条例・施行規則に則った利用許可を行っているか。	A	A	A
		②情報公開、広報の方策	・利用者アンケート結果の公表(館内掲示など) ・広範で適切な情報提供・広報活動の実施	S	S	S
		区分評価			S	
効果性	事業計画書の内容が、対象施設の効用(設置目的)を最大限発揮するものであること	③既存業務の改善、工夫又は新規事業等の実施	・業務改善や工夫又は新規事業(行事)等の実施 各フロアの特質を生かした特徴的なサービス提供や、市民協働によるサービス向上、体験コーナーの充実を図っているか。	S	S	S
		④利用者ニーズ、苦情などの把握方法、対応方策、サービスの質を確保するための体制	・利用者アンケートの実施 ・利用者ニーズ・苦情・クレームへの着実な対応・運営への反映	A	A	A
		⑤利用者に対するサービス向上の方策(窓口対応、プロモーション、設備の整備など)	・利用者へのサービス向上に繋がる方策の実施 参加者や利用団体の要望や満足度を調査し、事業展開や職員の待遇等に生かしているか。	S	S	S
		⑥利用促進、利用者増の方策	・利用促進や利用者増に繋がる方策の実施 施設利用や主催事業のPR活動とともに、新しいプログラム開発に努め、利用拡大を図っているか。	S	S	S
		⑦施設の効用(設置目的)を最大限発揮できるスタッフの配置	・質の高い文化体験の提供や効率の良い施設管理をするために、各分野に精通した職員を配置しているか。	A	A	A
		区分評価			S	
効率性	事業計画書の内容が、管理経費の縮減が図られるものであること	⑧指定管理経費の妥当性	・収支計画の妥当性及び適正な予算執行	A	A	A
		⑨管理経費縮減の具体的方策	・管理経費縮減に繋がる方策の実施(リサイクルやリユース、節水・節電など)	S	S	S
		区分評価			S	
安定性 安全性	事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	⑩組織及びスタッフ(採用予定者も含む)の経歴、保有する資格、ノウハウ、専門知識等	・教育文化施設を管理運営するために、その事業の運営に適した人材の採用と専門性を有するスタッフの育成に取り組んでいるか。	A	A	A
		⑪スタッフ(採用予定者も含む)の管理、監督体制	・事務分掌等に基づく管理・監督体制並びに事務分担の実施	A	A	A
		⑫スタッフ(採用予定者も含む)の人的能力、人的能力を有していること	・職員の資質向上を図る研修の実施又は研修会への参加	S	S	S
		⑬リスクへの対応方策(防止策、非常時の対応マニュアルなど)	・危機管理(リスク)や非常時対応のマニュアルの整備 ・リスク防止策の実践	A	A	A
		区分評価			A	
区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	指定管理者	所管課	評価委員会
貢献性	事業計画書の内容が、岐阜市あるいは施設がある特定の地域(以下「地元」という。)の振興、活性化などに貢献できるものであること	⑭地元の法人その他の団体の育成(一部業務の再委託先)、地元住民の活用(雇用又はボランティア等)	・地元の諸団体との連携、交流 ・地元の法人その他の団体の育成又は地元住民・高齢者・障がい者等の活用	S	S	S
		⑮地元での社会活動等への参加	・地元の振興、活性化などに貢献できる社会活動等への参加(地元行事への参加)又は地元の団体・住民との協働事業等の実施	S	S	S
		区分評価			S	

●指定管理者の取組みに対する自己評価(良否、課題と解決策など)

今期の取組み
に対する評価

【公平性・透明性】

・様々な情報サイトを活用し、積極的に情報提供を行っており、特にお出かけ情報量日本最大級の「子どもとお出かけ情報サイト いこーよ」の月間アクセス数においては、今期6カ月連続で県内1位(児童館の 카테고리)となった。

参考: 県内90児童館中1位 東海地区351児童館中8位 ※9月末現在

・施設や主催事業などの情報を、より幅広く提供できるよう、今期からInstagramも有効に活用し、広報を行った。

・テレビや新聞、地域情報誌など、様々なメディアを通じて、施設の魅力を発信することができた。

例: 主催事業「夏休み子どもセミナー」(テレビ) ミニイベント「鉄道模型運転会」(新聞)

「子どものフロア」(4・5階)や催しの紹介など、施設の特集(地域情報誌)

・アンケート結果については、ホームページ及び館内掲示で公表し、透明性の確保に努めた。

【効果性】

・PDCAサイクルに基づく既存事業の改善及び新規事業の積極的な導入により、セミナー事業の充実を図り、高い満足度を得ることができた。

参考: 親子対象セミナー全体の満足度96.6% ※「大変満足」「満足」の合計が全体に占める割合

・特に子ども対象セミナーでは、キャリア教育の充実を図るため、今期から実際の職場(受入れ施設)に出向いて、実践的な体験を行うセミナーを実施した。

セミナー名(施設): 「法廷・裁判体験」(裁判所) 「番組制作体験」(テレビ局)

・「子どものフロア」(4・5階)利用者に対するサービス向上策の一つとして、職員によるミニイベントを推進し(目標: 全職員年間2回以上)、様々な体験活動を提供することができた。

例: 「パソコンでゾウを歩かせよう」(プログラミング) 「ラジコンカーを走らせよう」(操作体験)

・展示ルームの充実や「25周年記念エンブレム」の設置など、1階ロビーの開放的で明るい雰囲気づくりに積極的に取り組んだ。

・上記の取組みを進める中で、「アトランタオリンピック人形」を撤去することとしたが、その文化的価値やシンボリックな役割を継承し、いかに今後の施設運営に生かしていくかが課題となった。(※課題への対応については、【今後の取組み】に記載。)

・アンケート結果だけでなく、窓口や電話などでの対応を通じて、積極的に市民ニーズを把握し、具体的なサービス向上策を講じることができた。

例: 託児ができるセミナーの拡大 幼児用踏み台の設置(クッキングルーム)

・大道芸やものづくりなど、施設の活動メニューを外に出向いて行う体験的なプロモーション活動(「ドリーム体験事業」)を推進し、「子どものフロア」(4・5階)の利用者が大幅に増加した。

「子どものフロア」(4・5階)利用者: 1,820人増(昨年同期比)

・上記に加え、セミナーやイベントなどの主催事業(共催を含む)においても、市民ニーズに即した見直しを図ることで、大幅に参加者が増加した。

主催事業参加者: 1,989人増(昨年同期比)

【効率性】

・「25周年記念エンブレム」の設置や、「子どものフロア」(4・5階)の「手づくり遊びコーナー」の充実、利用10回目にお渡ししている子どもたちへの記念品など、“手づくりのよさ”を様々な取組みに生かし、経費の縮減と利用者サービスの向上の両立を図った。

・ペットボトルや牛乳パック、空箱、木片などの廃材を多目的に活用することで、経費を抑えながら、各種体験活動の充実を図った。

例: 「子どものフロア」(4・5階)や出前講座でのクラフト活動 ミニイベントでのレクリエーション活動

・“自分たちでできることは、自分たちで”をモットーに、玩具や遊具、机などの備品はもちろんのこと、設備に関わる部分まで、可能な限り職員の手で修理や補修を行った。

例: トイレの水漏れ修理 ドア・壁の補修 床タイルの補修

・電力供給会社の見直し・変更を行い、利用者増に伴う電力コストの上昇を抑えることができた。

参考: 利用者数12.4%増 ⇒ 電気使用量4.3%増 ⇒ 電気料金0.1%減

(上記数値はいずれも昨年同期比)

・今期は特に猛暑の影響により、冷房にかかる経費の拡大が心配される中、その対策に積極的に取り組んだ。

例: 館内巡回の強化(室温・ドアの開閉チェック)、遮光カーテンの設置、打ち水の実施

【安定性・安全性】

・施設の特徴を十分に踏まえた職員研修計画(目標: 全職員年間6回以上)を作成し、それに基づき積極的に研修に取り組んだ。

基本的なスキル: 情報セキュリティ研修、環境保護研修、防犯研修、熱中症対策研修等

専門的なスキル: クラフト指導法研修、クッキング指導法研修、プログラミング指導法研修等

・研修成果については、研修報告会を通じて全職員で共有化を図るとともに、その成果を早期に実践で活かせるよう、担当者の割振りを行い、さらなるスキルアップにつなげた。

例: プログラミング指導法研修に初めて参加した職員 ⇒ イベントに関連ブースを担当

・職員によるミニイベントを推進し、その専門性やノウハウをさらに発揮することができた。(※目標回数・具体例については、【効果性】に記載。)

・岐阜県児童館連絡協議会主催の研修会や児童館・児童センター等との事業協力を通じて、他施設(団体)のノウハウを学び、施設運営に生かすことができた。

・セミナーの参加者がケガなどをされた場合に、より手厚く補償ができるよう、今期から加入保険の変更を行った。

<p>今期の取組み に対する評価</p>	<p>【貢献性】 ・出前講座やイベントへの出展を計12回(昨年同期10回)実施し、さらに積極的に地元団体(施設)との連携・交流を図った。 例: 梅林児童館、加納児童センター、白山小放課後児童クラブ、芥見地区子ども会、西郷地区子ども会、岩野田地区子ども会、子ども・若者総合支援センター ・高齢者を含め、多くの方がドリームサポーター(施設ボランティア)に登録され、セミナーやイベントなどを通して、幅広く活躍していただいた。 新規登録: 28名(継続を含め全体で85名) ・備品(大道芸セット・クラフト工具等)を貸出す際に、それを活用した効果的な指導方法を丁寧に説明するなど、施設の利用に関わらず、地元団体へのノウハウの提供に努めた。 ・市民協働を推進するため、自主企画事業「ドリーム市民企画セミナー」(市民講師を募集して行うセミナー)のさらなる拡充を図った。 年間計画: 今年度24講座(昨年度17講座) ・自主企画事業として、一般セミナー「はじめてみよう! エプロンシアター」(平日・夜間・4日間コース)を開催し、幼児教育・保育の現場で役立つ実践的な内容を提供した。 参加者: 幼稚園教諭や保育士など15名 ・市や大学と連携し、学生実習生の受入れ(インターンシップ)を積極的に行った。 受け入れ人数: 10名(昨年同期7名) ・イベント等への参加を多くの市民団体に呼びかけ、その活動機会の拡大と事業の充実の両立を図った。 例: 「ドリームフェスタ」11団体参加、土日祝日のミニイベント15団体参加 ・その他、下記の例にある取組みなどは、継続して行っている。 例: 「ぎふ清流ハーフマラソン(公式トイレ)」、「アダプトプログラム」、「長良川清掃」、「子ども110番の家」、「赤ちゃんステーション」、「こどもスマイルステーション」</p>
<p>前回までの意見を 踏まえた取組み状況</p>	<p>【所管課の前回意見に対する取組み状況】 ○様々な情報サイトや子育て世代に向けた情報誌を積極的に活用し、情報を提供した。また、メディアにおいても事業の様子を取り上げられるなど、広域な広報を展開したことにより、某情報サイトにおける月間アクセス数が県内1位、東海地区7位(児童館部門)となり、広くドリームシアター岐阜の知名度を高められた。 ⇒上記の取組みをさらに推進することで、今期は利用者増という結果にもつなげることができた。 ○新規事業や利用者からの要望に対応するなど、常に利用者目線の事業運営を行っており、利用者アンケートにおいても高い満足度を維持しており、今後もこのスタンスを継続したい。 ⇒引き続き、各事業におけるPDCAサイクルを推進し、満足度の維持・向上を図るとともに、要望・苦情に対しては、可能な限り迅速に対応を行った。(※具体的な内容については、【利用者アンケートの実施結果】及び【利用者からの要望・苦情と対処・改善】に記載。) ○経費を節減するため、可能な限り現場の職員にて修理を実施したり、施設内の節電等に努め、光熱水量の年間削減を達成できたことは市の施設として高く評価できる取り組みである。 ⇒“自分たちでできることは、自分たちで”をモットーに、引き続き、職員による施設整備を推進するとともに、今期は特に電気料金を削減するため、電力供給会社の見直し・変更を行った。 ○インフルエンザなどの感染症の流行や他の公共施設において事故等が相次ぐ中、安心安全な施設運営を心がけ、事故等が発生しなかったことを評価したい。 ⇒今期も事故や大きなケガなどはなく、特に台風や大雨への対応、熱中症対策については、ホームページや掲示、館内放送、窓口での呼びかけ、職員による巡回など、様々な方法で注意喚起を行い、安全強化を図った。 【評価委員会の前回意見に対する取組み状況】 ○これまで同様、岐阜市における児童館の拠点・中核的施設として、様々な取り組みができていことを高く評価したい。 ⇒今期も「子どものフロア」(4・5階)の充実や職員によるミニイベントを推進するなど、様々な取り組みを通して、来館者へのサービス向上に努めるとともに、市内児童館・児童センターへの出前講座(イベント協力)も積極的に行った。 ○保育士等への講座が、前年度5講座だったが、今年度は倍増しているように貢献性が高い。このような専門性を生かした地域への貢献は今後も継続していただきたい。 ⇒保育士や幼稚園教諭などを対象としたセミナーを継続して実施するとともに、今期は特に地域貢献を目的とした、「ドリーム体験事業」の推進を図った。(※「ドリーム体験事業」: 大道芸やものづくりなど、施設の活動メニューを外部に出向いて行う事業)</p>

<p>今後の取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市民ニーズや現代的課題、親子のふれあいなど、様々な視点を大切にして、魅力ある主催事業を実施するとともに、PDCAサイクルを適切に運用し、次年度に向けたよりよい主催事業計画を策定する。 ・「ドリームフェスタ秋」や「ドリームミニフェスタ」などのイベントの企画・運営の充実を図る。 ・ハード・ソフト両面で、「子どものフロア」(4・5階)及び1階フロア、2階フロアの改善に重点的に取り組む。 ・撤去した「アトランタオリンピック人形」の文化的価値やシンボリックな役割について、多くの市民のみならずに知っていただくため、1階ロビーに紹介パネルを設置するとともに、「人形劇鑑賞会」開催時に広報を行っていく。 ・新規体験活動メニューの開発や職員によるミニイベントなどを推進し、さらなる利用者満足度の向上を図る。 目標:職員によるミニイベント 全職員年間2回以上 ・特別支援学校(学級)の児童・生徒が参加する「岐阜地区ふれあい教育展」(会場:ぎふメディアコスモス)の期間中に、主催イベントを開催し、その利用促進を図る。 ・市民団体への活動支援の充実と、市民ニーズに即した環境整備に取り組み、施設各室の稼働率の向上を図る 目標:施設各室の平均稼働率(日) 65.0%以上 ・引き続き、光熱水費等の経費の縮減に努め、その余剰金を利用者サービスの向上のために有効活用していく。 ・職員の専門性の向上を図るための研修会への参加や資格取得を推進する。 目標:職員研修 全職員年間6回以上 ・市民協働を推進するため、ドリームサポーター(施設ボランティア)への活動支援や、市民講師による「ドリーム市民企画セミナー」の充実を図る。 ・地域貢献や施設のPR、体験活動の普及につながるよう、市内で行われるイベントへの参加や、小学校・子ども会などへの出前講座を積極的に行っていく。
---------------	--

●所管課の意見

- 市内及び近隣市町の全小中学校、保育所に毎月チラシを配布したほか、ホームページの更新や、広報ぎふやメディアなどの広報媒体の有効的な利用、情報サイト「いこーよ」や「イベントバンクプレス」や「のぶすと！」へのイベント等の情報提供を行い続けた結果、「いこーよ」の月間アクセス数が6カ月連続県内1位となり、東海地区を見ても8位となるなど、ドリームシアター岐阜の知名度をさらに高めた。
- 今期より裁判所やテレビ局などに出向いて実践的な体験を行うセミナーを開催したり、託児ができるセミナーを拡大するなどして利用者の満足度が高まる活動を実施した点を評価したい。
- 多種多様なミニイベントを実施したり、利用回数10回で記念品を贈呈するだけでなく、外部に出向いて体験的なプロモーションを行うことにより「子どものフロア」の利用者が増加した。
- 熱中症や度重なる台風への適正な対応によって、大きな事故が発生しなかったことを評価したい。
- 職員体制や経営状況についても問題なく運営されている。

●指定管理者評価委員会の意見

常に岐阜市における児童館の拠点・中核的施設として、様々な取り組みを行っていることを評価したい。「今後の取組み」について、それぞれに具体的な全職員による数値目標が掲げられており、好感が持てる。これらの中で利用者から好評なものについては、継続して行ってほしい。

近隣施設を含めた幅広い新規事業等を行っており、今後も継続してほしい。

上半期は3年連続で利用者が増えている。今後も利用促進・利用者増に取り組んでもらいたい。

管理運営は適正に行われており、良好と認められる。